

2024  
(令和6年)

1

No.1179

IIDA CITY  
広報

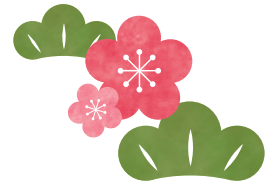
# いいだ

謹賀新年

特集

「年頭書簡」市長あいさつ  
短甲 よみがえった古墳時代のよろい

南アルプスから昇る朝日  
「広報いいだ」もリニューアルし、  
新年と共に新たなスタートを切ります。  
本年もよろしくお願いいたします。



あけましておめでとうございます。

健やかに新しい年を迎えられましたことと

お慶び申し上げます。



昨年は、5月に新型コロナが2類から5類へ移行し、多くのイベント・地域行事が再開されました。

医療機関や福祉施設では引き続きコロナ対策を実施しており、世の中にマスクの着用を続けている方も多いという状況ではありますが、令和6年は、コロナ禍の経験を活かし、新たな将来に向けて力強く踏み出す年にしたいものです。



飯田市長 佐藤 健

## 去年は長年の課題に道筋

10年以上前から県に要望してきた**運転免許センターの設置は、長野県の令和5年度11月補正予算に飯田警察署の建て替えに係る設計費が計上され、本格的に動き出すことになりました。**また、それに伴う**飯田創造館閉館という課題についても、南信州広域連合が旧地場産業振興センターの一部等を改修して新たな文化芸術活動支援施設を整備することになりました。**新しい文化会館についても、今年度中に基本構想をまとめ、令和6年度には設置場所を含む基本計画をまとめます。

信州大学の新学部設置が見送られたことは、市民の皆さんの期待が大きかっただけに失望も大きかったことと思いますが、**信大が進める「水と太陽光から水素を創る」という世界最先端の研究の関連施設を飯田市に誘致し、研究機関・関連企業の誘致につなげていきたいと考えています。**

## 今年は「日本一住みたいまち」に向け取り組みを加速

現在、令和6年度当初予算の編成作業中ですが、この3年間コロナ対策を優先せざるを得なかった分、来年度予算は、私が目指す**「日本一住みたいまち」「環境文化都市」の実現に向け、ギアを入れ替えて取り組みを加速する予算としたいと考えております。**

「地元を離れた若者が帰ってこない」という当市の構造的な課題にしっかりと向き合い、**「結婚や出産・子育ての希望に寄り添っていくこと」「ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを加速すること」**を大きな2つの柱として、**予算編成を行ってまいります。**

合わせて、土地利用計画の見直しやいいだ未来デザイン2028後期計画策定を通じ、**令和6年は、未来への礎を確かなものにする年としたいと思っております。**



皆さんにとって幸多き一年でありますことを心からお祈りいたします。  
本年もよろしく願いいたします。



# 短甲 たんこう

よみがえった  
古墳時代のよろい



新井原7号古墳出土  
三角板横刳板併用鋌留短甲

昨年秋から、飯田市考古博物館の展示に2つの鉄のよろい「短甲」が加わりました。短甲は、古墳時代の飯田の繁栄を今に伝える逸品です。



石行2号古墳出土 三角板鋌留短甲

## 短甲って？

今から約1600年前の古墳時代につくられた、胴体を守る鉄のよろいです。何枚もの鉄板を加工し、人体の曲線に沿って組み上げる高度な技術が必要で、近畿地方を中心に強い権力を誇った「ヤマト王権」しか製作することができなかったといわれています。短甲は、ヤマト王権と関係が深いごく一部の有力者だけに与えられた高級品でした。

## 修復した短甲の特徴

2つの短甲は、エス・バード(座光寺)付近の古墳から出土しました。両方ともリベット(鋌<sup>びょう</sup>)で鉄板をつないでつくられています。同じ形に見えますが、よく観察すると違いがわかります。



▶ 正面



▶ 背面の鉄板構成

いしぎょう

さんかくいたびょうどめたんこう

## 石行2号古墳出土 三角板鋌留短甲

全周にわたって29枚もの三角形の鉄板を使用した、非常に手の込んだ短甲です。

あらいばら

さんかくいたよこはぎいたへいようびょうどめたんこう

## 新井原7号古墳出土 三角板横刳板併用鋌留短甲

正面は長方形、背面は少数の三角板をそれぞれあてた珍しい作り方の短甲です。



▶ 正面



▶ 背面の鉄板構成

## 発見から修復へ

2つの短甲は100年ほど前に出土し、市内の方のお宅で大切に保管されてきました。平成25年に市へ寄付いただきましたが、展示するためには修復が必要であったため、令和4年度から公益財団法人三菱財団の助成金をいただいて修復を始めました。

修復は奈良県の専門機関に依頼しました。まず、表面についたサビやほりなどを落とします。次に、薬剤に浸してよろいを劣化させる物質を除去します。そして、欠けた部分や弱い部分に樹脂を入れて補修し、最後に色を塗って修復は完了です。これらはすべて手作業で、約1年間かかりました。



▲修復作業中

## 短甲から知る飯田の繁栄 ～ヤマト王権とのつながり～

飯田には「飯田古墳群」(国史跡)を中心に500以上も古墳があり、今回修復した短甲のほかにも、「よろい」や「かぶと」がいくつも出土しています。

古墳時代の飯田はヤマト王権にとって、関西から関東へと影響力を広げるために押さえておくべき交通の要衝でした。そのため、ヤマト王権は内陸の交通に有利な馬を飯田で飼育させ、その役割を担った飯田の有力者たちに貴重な短甲を与えました。

短甲は飯田がヤマト王権とのつながりの中で発展していったことを伝えてくれる大切な宝物です。



▲上郷の溝口の塚古墳から出土したよろいかぶと  
(飯田市有形文化財)



▲市内で見つかった古墳時代の馬の骨

### 飯田市考古博物館 (上郷別府2428-1)

- 開館時間／9:30～17:00 (入館16:30まで)
- 休館日／月曜日、祝日の翌日、年末年始ほか
- 観覧料／大人…200円(160円)、高校生…150円(120円)、小・中学生…100円(80円)  
※( )内は20人以上の団体料金 ※観覧料は秀水美人画美術館と共通
- 電話／0265(53)3755

## 全市型競技別スポーツスクール やりたいことに挑戦



弓道(市営弓道場)



バドミントン(上郷体育館)

中学生を対象に今年度は19講座開設しています。初心者向けの「体験型」と競技者向けの「競技力向上型」、コーチが学校に出向く「出張型」に分かれており、目的に合わせて好きな講座を選ぶことができます。

弓道体験に参加した中学生は「学校では美術部だけど弓道も楽しかった。高校では弓道部に入りたい」と話してくれました。

## 特産品を東京でPR 魅力を国内外に発信



結び方を教える津田塾大学の学生(11月18日・19日)



市田柿をしっかりPR(11月28日)

- 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパスの学園祭「津田ヶ谷祭」で、飯田について学ぶ学生グループが飯田水引のワークショップを行い、2日間で約90人が体験しました。

- 市田柿出荷の最盛期を前に、東京都中央卸売市場「太田市場」で、全国の卸売業者に市田柿をPRしました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。  
ぜひご覧ください。

QRを  
スキャン



Instagram

## 遠山の霜月祭 無病息災を願う



木沢正八幡神社(12月9日)

全国の神々を招きお湯でもてなし、太陽と生命の復活を祈る儀式とされる遠山の霜月祭が、12月2日～15日に8カ所の神社で行われました。地区外の見学者も多く訪れ、祭りの活気を肌で感じていました。

## 税に関するポスター・作文表彰 税への理解を深める



税に関するポスター・作文を市内の小中学校、高校から募集し、ポスター248点、作文400点の応募がありました。優秀作品の表彰式を12月1日に開催し、賞状を贈りました。

## 第8回 みなみ信州駅伝 たすきをつなぐ



初開催の小学生の部

12月3日、飯田市総合運動場をメイン会場とした第8回みなみ信州駅伝が開催され、市内外から108チームが参加しました。初開催された小学生の部では、1区間2kmを4人のたすきでつなぎました。

## 第44回 おいでなんしょ寄席 人気落語家が飯田に



桂文珍さん

12月6日、三遊亭好楽さん、桂文珍さん、桂宮治さんが文化会館に集まった約1,300人を魅了しました。文珍さんは、りんご並木やリニア駅などのご当地ネタも盛り込みながら、会場を盛り上げました。

# 現代版 養生訓

お子様が手術を受けることになったら



麻酔科  
栗原知弘 医師

麻酔は手術を行うために不可欠な医療技術ですが、もちろんこれは大人に対してだけでなく、子どもに対しても行われます。お子様が手術を受けられるとなると、保護者の皆様もお子様自身も不安を抱かれることと思いますが、手術を安全かつ快適に行うために、保護者の皆様には特に手術前の準備にご協力いただくことが大切です。

「子どもは大人のミニチュアではない」という格言が医療現場にあります。言葉通り、子どもの体はまだ成長途中であるため、麻酔薬や処置への反応も大人と異なります。全身麻酔では多くの場合、口から喉の奥の気管にかけて、すなわち気道に管を入れ、人工呼吸を行います。こうした処置は手術中から術後にかけて少なからず気道に負担をかけてしまいますが、子どもは特にこうした刺激に過敏で、稀に喘息発作のような危険な症状を引き起こすこともあります。

気道が過敏になる他の要因には、喘息歴やアレルギー性疾患の既往、家庭内喫煙などがありますが、その最たるものが風邪です。風邪を引いてから2週間程度は気道が過敏であるため、緊急性が少ない手術であれば延期をしたほうが望ましいこともあります。そのためもし手術を控えたお子様が風邪を引かれたら、なるべく早く病院にご相談いただくことが肝要です。

子どもは平均して年に6~8回ほど風邪を引くと言われており、手術のタイミングは難しいと思いますが、お子様が安全で快適な手術を受けられるよう、医療チームと相談・協力していきましょう。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

## 休日や夜間に急な病気やケガをした時は

### 〈飯田下伊那の救急医療体制〉

#### 夜間は(毎日)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) …… 19:00~22:00

#### 休日は(日曜日・祝日・年末年始・お盆)

- 休日夜間急患診療所(内科・小児科) …… 9:00~12:30
- 在宅当番医(内科・小児科・外科・産婦人科) …… 9:00~18:00(産婦人科は12:00まで)

#### 土曜日は(かかりつけ医)

- 午後休診となる医療機関が多いので、かかりつけ医が休診のときは  
休日夜間テレフォンセンター(☎0265(23)3636)へお尋ねください。

#### 重篤な症状の場合は

- 輪番制二次病院(内科・外科)に救急搬送

#### 問い合わせ

- 飯田市休日夜間急患診療所(飯伊地区包括医療協議会) ☎0265(23)3636
- 保健課 健康推進係 内線5511

在宅当番医の  
受付時間は  
電話でご確認  
ください。

